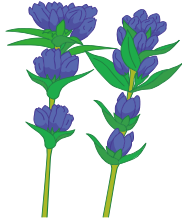


# 羽 沢

令和元年 10月号  
横浜市立羽沢小学校  
学校長 田屋多恵子

(E) 笑顔いっぱい (S) 健やかいっぱい (D) 大好き羽沢の人とまち

羽沢小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hazawa/>



## 御 蔭 様 で

校 長 田 屋 多 恵 子

秋の透き通るような空と鱗雲、そして時々爽やかな秋の風が吹くようになりました。過ごしやすい季節になり、子どもたちも校庭で気持ちよさそうに走っています。

「御蔭様」という言葉が日本には昔からありますが、何事も自分の力だけで、順調に動いているのではなく、見えなくても周囲の協力や支えによって成り立っているのだという意味です。

自分たちが毎日無事に過ごしているのも、学校で元気に過ごし学べるのも、実は多くの人が蔭で支えているからこそ成り立っているものなのです。学校を例にとってみましょう。現在の羽沢小学校でも体育館を新しくするために夏の暑いころからずっと工事をしてくださっている方がいることで、来年新しい体育館でみなさんが体育をすることができます。また、司書の先生や理科支援員の方や職員室アシスタントの方などがいて日常の教育活動が豊かになっています。また PTA の役員の方々、さらに読み聞かせのボランティアの「ふわふわスマイル」さん、花壇にお花を植えてくださっている「グリーンボランティア」さん、「はぐくみサポーターズ」さんなどです。そして、地域の防犯パトロールの方々、見守り隊の方々、50周年の事業を進めようと話し合ってください 50周年事業の実行委員の方々、それらの多くの方々の努力や応援で、私たち学校の教職員も支えられ日々の教育活動に取り組むことができるのです。

自分の力だけで何事もうまくいっているわけではありません。ですから、「自分たちを支えてくれている方々はどんな人がいるのかな。」とか「だれがきれいにしてくれているのだろうか。」など、自分たち以外の人たちに思いを馳せることが大切です。そのような考え方をしていると、人の気持ちを想像したりすることができるようになり、自分の行動が周りの人をどのような気持ちにさせるのか、またお友達はどういう気持ちでいるのかもわかるようになります。

自分を支えてくれる家族の気持ち、そして地域の方々の気持ち、また学校での友達の気持ちを想像してみましょう。そしてそこに「お蔭様」の気持ちをもてれば、今よりもっと毎日が楽しくなると思います。

### お知らせ

**9月24日の朝会で「カーボンオフ」の話をしました。地球温暖化を少しでも防ぐためにラグビーのワールドカップの期間に合わせて10月1日から10月7日まで「カーボンオフ」に26日に配付した用紙で、1週間取り組みます。終わったら担任の先生まで提出をお願いいたします。締め切りは10月11日です。ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。(3年生～6年生に配付いたしました)**

